

## はだ色

### 小 四

私の弟のクレヨンには、「はだ色」という名前の色がない代わりに「ペールオレンジ」という色があります。どうして色の名前が変わったのか調べてみました。

「はだ色」という言葉は、はだの色ということですが。でも、世界中にはいろいろな国や地いきがあつて、いろいろなはだの色があります。そして、そのはだの色は、その人が住んでいる場所の暑さや寒さなどにも関係しているのです。日本では同じようにはだの色をしている人が多いのに、外国には

一つの国でもいろいろなはだの色の人がいるということもわかりました。

今は、「はだ色」という名前ではなくて、「ペールオレンジ」「ライトオレンジ」「うすだいだい」などという名前が使われています。はだの色は一色ではないことに気付いたから、「はだ色」という名前が使われなくなったのだと思います。そして、はだの色を一色に決めてしまうことは差別の一つになるということを知りました。

また、国さい化で日本にもいろいろなはだの色をした外国の人がたくさん来るようになったり、同じ日本でも人によってはだの色が少しずつちがったりするから、「はだ色」と言われなくなつたという考え方もあるそうです。

もし、自分が色えんぴつやクレヨンとちがう色のはだだったとしたら「どうしてだろう。自分のはだの色は、ほかの人たちのはだの色とちがうのかな。」と考えて、とても悲しくなったり、くやしくなったりすると思います。

私は今回「はだ色」について調べて、はだの色のちがいで差別をしてはいけないということがわかりました。だから、人種差別をなくすためには、自分と他の人とのいろいろなちがいを受け入れて思いやる心をもつことがとても大切なことだと思いました。